

一 般 質 問 通 告 書

上記の件について、下記の通り質問したいので、会議規則第62条第2項の規定により通告します。

平成30年8月22日

議席番号

14番

東村山市議会議長 あて

質問者

土方 桂

記

1. 東村山市の暑さ対策について

ここ10年間で日本の夏の気温は35℃を超える日が続き、今年は特に40℃を超える日も続いた。気象庁も「災害レベル」と報道するものです。しかし、高齢者や子供も外に出る事が必要な時もあり、暑くても待たなければならない場所は多く存在致します。そこで、当市の暑さ対策と今後の展開について、以下質問致します。

- (1) コミュニティバス各バス停の暑さ対策について伺う。
特に駅、市役所については詳しく伺う。
②今後の対策について伺う。
- (2) 今年、猛暑が続いた事を受けて、小学校・中学校の暑さ対策について伺う。
②今後の対策について
- (3) クールシェアやクールチョイスについて、どの様に展開したか伺う。
②平成30年度以降はどの様に広げていくか伺う。
- (4) 今後、当市で行政施設やまちなか等で、暑さ対策が必要な場所はどこを考えるか伺う。
- (5) 総括的に市長に伺う。今後、微細ミストや冷却ルーバー等の人口的涼しさを創出する事や、木々や緑等の自然を増やす事などを踏まえて、熱中症対策も含め暑さ対策の今後について伺う。

2. 特急小江戸を使ったまちおこしを

特急小江戸が東村山駅に停まって約5年が経ちました。東村山市民は、使い勝手が良く便利になったという声を多く聞きます。この便利さを使って市外の方々に東村山が企画するイベントや祭りに多く参加できる様に、また、ふらっと立ち寄れるまちになれる様に、以下質問します。

- (1) 2013年から2018年で、小江戸の降車人数の変化を伺う。
- (2) この5年間で小江戸を使った当市のイベントは有ったか伺う。また、その成果を伺う。
- (3) 金沢市は「足をひっぱるより、手をひっぱれ」として、街道観光プロジェクトを市長自ら提案して「北陸・飛騨・信州3つ星街道」など各種事業を展開して他の県と連携し、観光客を呼び込んでいます。当市も例えば、産業祭の時に特急停車駅市区と連携し、特急が止まる新宿、高田馬場、狭山、川越発の特急券を提示したら、ひがっしーグッズや地場野菜をプレゼント等の企画を立て、他市からお客様を呼び込むように、西武鉄道や区市と連携する事を提案するが、市長に見解を伺う。